

2020年度報告書

- ・事業報告及び附属明細書
- ・貸借対照表
- ・損益計算書(正味財産増減計算書)
- ・損益計算書(正味財産増減計算書)内訳表
- ・財務諸表に対する注記
- ・貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)の附属明細書
- ・予算対比損益計算書(正味財産増減計算書)
(参考資料)
- ・財産目録(参考資料)
- ・監査報告

一般財団法人 住友生命福祉文化財団

I 予防医学振興事業

1. 住友生命総合健診システム(人間ドック)

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、極力例年に近い形で最大限の受診機会を提供すべく、受診者及びスタッフの感染予防に万全の措置を講じた上で各種健診を実施、生活習慣病の早期発見及び健康管理に注力しました。

a. 新型コロナウイルス感染症の影響・対策について

- (1)緊急事態宣言発令直後の4月8日～5月31日まで健診事業を休止しました。受診予約済みのお客さまは36営業日で約2,300名、4～5月の受診者数実績は前年比▲3,237名。ご予約されていたお客さまには文書・電話・メールなどで個別連絡を実施しました。
- (2)6月1日よりスモールスタートで健診や予約業務を再開しました。手指消毒の徹底、シールドや空気清浄機の設置、「3密」を避けるため1日当たり受診者数を制限する等の感染予防策を講じています。呼吸機能検査については、呼吸器学会から「集団検診などでは呼吸機能検査の実施を慎重にご判断ください」との勧告がでていたため中止させていただいています。

b. 健診クオリティ・受診者体験価値(CX)向上の取り組み

- (1)ウイズコロナの健診手法や予防策の確立
 - ・医療面談時の検温や渡航歴、PCR検査実施の有無等の事前確認を徹底しました。
 - ・健診を胸部X線検査から開始し、コロナ感染リスクのスクリーニングを実施しています。
- (2)医療面談時、各種オプション検査の説明と勧奨を実施し、お客さまに適したオプション設定の実施、受診単価アップ・収益向上に努めています。
- (3)受診予約のキャンセル発生時、情報を共有化し新規予約者への振り分け等、受診枠の効率的な充足に努めています。

c. 受診者数向上への取り組み

- (1)個別受診者への勧奨活動
前年受診者へのDM送付による受診勧奨活動を実施しています。
- (2)未訪問団体へのアプローチ
受診者はあるものの、これまで未訪問の団体へ受診勧奨チラシをお届けしています。
- (3)期限内受診勧奨の団体あてDM送付
2020年度内(2021年3月末まで)に、受診期間が設定されている健康保険組合傘下の事業所あてDMを送付しています。

【住友生命総合健診システムの受診状況】

- ・総受診者数20,930名(前年比▲2,057名)
- ・総合健診受診者数19,203名(前年比▲2,231名)
- ・総合健診初回受診者2,661名(前年比▲397名)
- ・健診受診料収入967百万円(税抜)(前年比▲89百万円)
- ・特定健診・特定保健指導受診者7,455名(前年比▲1,562名)

	総合健診			特定健診・特定保健指導	
	受診者	初回受診者	初回割合	受診者	保健指導(当日)
男性	10,401 (前年比▲1,103)	1,286	12.3%	4,355	92
女性	8,802 (前年比▲1,128)	1,375	15.6%	3,100	11
合計	19,203 (前年比▲2,231)	2,661	13.8%	7,455	105

d. 社会貢献施設としての役割拡大(他施設との差異化)

(1)聴力障がい者健診

コロナ禍の状況を勘案し、受診者の安心・安全を考慮し中止としました。

(2)介護する人及びひとり親家庭世帯者向け受診優遇の取組み

12年目となる2020年度は29名の方に受診いただきました。

e. 学会発表等

運営を通じて得られる知見については、従来から学会等での発表を積極的に行っており、以下のとおりの実績となりました。学会発表のほか、多くの研修会、勉強会等にも積極的に参加し、最新医学情報の習得、健診技術の向上のため、職員の研鑽に注力しました。

第30回乳癌検診学会学術総会(発表)	11月22日～23日	仙台国際センター (WEB ハイブリッド開催)
【演題】 「乳癌検診受診コース別成績の比較検討」 【発表者】 岡田 優子 【共同演者】 亀岡 美幸、神田 恵美子、安井 香里、上田 裕美子、川崎 幸代、坂根 深幸、 田中 和美、有澤 瑞希、増田 佳純、寺田 博美、長尾 顕一、堀本 葉子		

2. 地域医療貢献奨励賞

第14回となる2020年度も例年同様、自治医科大学様の後援を得て、全国の都道府県から推薦のあった医師の中から地域医療の確保と向上、住民の健康福祉の増進に貢献している医師6名を選出し、2月20日に表彰式を行いました(副賞50万円)。これまでの受賞者は43都道府県のべ86名となりましたが、地元新聞(1月4日付岩手日報、2月23日付紀州新聞、3月9日付熊本日日新聞等)で紹介される等、地域医療、そして本顕彰事業への社会的関心は大変高く、引き続き幅広く本事業の周知を図れるよう取り組んでまいります。

なお、2月20日の表彰式(於:東京)は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令中であり、医療の最前線で活躍する受賞者の感染リスクも鑑み、初めての試みとして、受賞者全員がオンラインでのご参加となりました。オンラインの利点として、コロナ感染リスクの低減、表彰式出席のための受賞者の長距離移動や日単位のスケジュール確保が不要となることに加え、多くのご家族・関係者の皆様にご視聴いただくことができました。

受賞者は、以下に記載の通りです。

<敬称略>

佐藤 元美	岩手県 一関市病院事業管理者
昭和54年自治医科大学卒。約13年間にわたり医師不足が深刻な沿岸地域において地域医療の確保に尽力するなど、過疎、山村地域の医療に32年以上従事した。藤沢町国民健康保険藤沢診療所長に着任した平成4年から、当時まだ一般的ではなかった医療、介護、福祉の連携による体制整備を先駆的に進め、地域包括医療・ケアの実現を目指した病院の開設準備に尽力、平成5年に国民健康保険藤沢町民病院の開設時院長に着任した。院長着任後は、病院管理者として病院機能の充実、地域医療の確保、患者サービスの向上に努め、地域包括ケアシステムの確立に尽力したほか、住民が病院関係者と直接対話する「地域ナイトスクール」を定期的を開催することにより住民の地域医療への理解の促進を図っている。地域包括ケアの実践と住民との対話により良好な経営を続け、平成17年には「自治体立優良病院表彰」を受賞するなど、地域住民に信頼される病院づくりを進め、永らく地域医療を牽引してきた功績は誠に顕著であり、住民の安心と命を守るための取組みの姿勢には、多くの住民から感謝と信頼の念を寄せられている。	
高橋 一二三	山形県 白鷹町立病院・管理者
昭和58年自治医科大学卒。昭和63年に白鷹町立病院内科医長として着任後、同病院副院長、院長、事業管理者を歴任し、通算29年の永きにわたり特別豪雪地帯の同町において、地域住民に信頼と安心を与える医療の提供に尽力してきた。外来診療・入院診療に加え、平成7年に訪問診療、平成9年に訪問看護事業を開始するなど地域医療の充実を図るとともに、平成13年には同町健康福祉センター長に着任、地域包括ケアシステムの先駆けとなる医療と福祉の連携体制の構築にも寄与した。また、小規模病院としては先駆的に医療IT化を進め、電子カルテを導入して経営効率化に尽力したほか、人間ドックなど予防事業も推進し、受診者全員への栄養指導を実施するなど地域住民の生活習慣病の予防、疾病の早期発見にも努めてきた。更に今般の新型コロナウイルス感染症拡大においては、帰国者接触者外来としての協力、発熱外来の設置など公衆衛生面でも尽力している。地域医療の確保のみならず、住民の健康維持・福祉の充実に長年にわたり貢献した功績は極めて大きいものがある。	

藤森 勝也	新潟県 あがの市民病院・院長
昭和60年自治医科大学卒。県立妙高病院、県立柿崎病院など特別豪雪地帯のへき地病院を歴任した後、平成19年に県立柿崎病院の院長に着任、継続して地域包括医療ケアを推進してきた。県立柿崎病院では全職員による「いきいき健康講座」や「地域の医療を考える会」などの開催に加え、院外薬局との協力による「お薬相談会」、地域老人会との連携による出前健康講座、地元中学校での禁煙・禁薬物教育など地域組織と協働も図り、地域ぐるみで医療の底上げを目指す取り組みを行った。平成29年にあがの市民病院の院長に着任後は、「医療資源が乏しい地域で、健康寿命日本一を目指す」を目標に、地元自治体と協力して「自助」に力を入れ、糖尿病教室や出前健康講座などを開催するほか、近隣の医療施設との医療機器の共同利用、在宅療養後方支援病院のシステム化、介護施設との連携の会設立による顔の見える関係性作りなどを進めている。また、学会誌へ報告を行うなど、特に咳嗽(がいそう。一般的に言うところの“せき”)の臨床的研究にも積極的に取り組み、臨床に基づいた学術活動やアレルギー学の啓発・普及にも尽力している。永きにわたり地域医療の一翼を担ってきたことに加え、地域医療の本質である全職員による「地域とのかかわり」を重視し、「地域を治し、支える医療」を構築してきたことは、地元新聞をはじめ地域からも高く評価されている。	
丸山 敦	山梨県 身延山病院・院長
昭和54年自治医科大学卒。昭和56年に身延山病院に着任、約40年間にわたり、山梨県南部の山間地域に位置する同病院において、外科医として地域医療に携わってきた。身延山病院に着任するきっかけは、同病院の医師が不在となったことにより急遽、派遣が決定したことによるものであったが、当時、報道機関から医療砂漠と表現された同地域において一人で診療を開始し、昼夜を問わず精力的に医療活動を行ってきた。医療機関や医師の数が他の医療圏に比べ最も少ない状況にある中、同病院の副院長、院長を歴任、自らの伝手を頼りに少しずつ仲間を募り、現在は、常勤医9名、非常勤医20名の医療体制を確立している。また、へき地における持続的で切れ目ない診療を継続するため、隣接する町の医療センターとの連携強化を図るなど医療連携体制の推進にも力を尽くし、外科専門医、指導医として後進の育成を図るなど、その実直な仕事ぶりから、病院職員はもちろん、地域住民から広く信頼を得ている。40年以上の永きにわたり地域における医療の確保と向上に努めてきたその功績は、誠に顕著である。	
大嶋 仙哉	和歌山県 みなべ町立高城診療所・院長
昭和40年大阪大学卒。大阪大学医学部第一外科、社会保険紀南総合病院外科などを経て平成元年に紀南総合病院副院長に着任。平成4年、終戦後間もない頃から高城診療所でのへき地医療に尽力していた父に代わり、地域住民の強い要望で同診療所の院長に就任した。高城診療所は、みなべ町中心部から約10km離れた所に位置し、住民の医療及び健康管理を一手に担っている地域にとって欠かせない診療所であるが、同氏は院長として着任以来、28年以上の永きにわたり昼夜を問わず診療所での治療や往診に奔走、地域住民の健康な暮らしを守るために全身全霊でへき地医療に取り組んできた。また、診療活動の傍らには、保育所、特別養護老人ホームの嘱託医、学校医として住民の健康管理にも尽力し、地元県知事からも保健福祉の功労者として表彰を受けるなど、その地域住民の暮らしに寄り添った医療活動は、地域住民にとって安心感をもって自らの健康管理を託せるものとなっている。高城診療所をはじめ、へき地診療に38年以上従事し、地域医療の確保と住民の健康福祉へ果たした貢献は極めて大きいものがある。	

佐藤 立行	熊本県 佐藤医院・院長
昭和25年熊本医科大学卒。昭和28年に国立戸馳療養所に内科医師として着任。以来67年の永きにわたり、八代海に位置する戸馳島の医療に貢献した。国立戸馳療養所に着任後は、同療養所内科医長、副所長、国立療養所三角病院副院長を歴任し、昭和60年には戸馳島の無医地区に開業、その間一貫して真摯な態度で地域医療に従事し、住民の医療・保健・福祉の向上に努めた。また、平成元年から現在に至るまで小中学校の校医として生徒の健康管理及び学校保健会の活動に尽力、学校保健の推進に努めるほか、昭和60年から平成13年まで三角町教育委員会の委員、委員長を歴任、その間、小規模校の教育向上効果を考慮した小中学校の統合を進め、地方教育行政に対する功労で文部科学大臣賞を受賞するなど医療分野以外でも地域社会に大きな貢献をしている。地域の医師会でも平成8年から平成30年の間、裁定委員や理事を歴任、医道の高揚と親睦融和に努めて医師の資質の向上を図るなど、永きにわたり地域の医療・保健・福祉の向上に努めた功績は極めて大きい。	

Ⅱ 福祉事業

1. スミセイ ウエルネス セミナー

全国35都市での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、セミナー実施可否について共催先の各新聞社と慎重に協議した結果、30都市が中止となりました。大阪をはじめ5都市については各地域の感染状況を踏まえてセミナーを実施、うち4都市はオンライン配信のみの開催となりました。

新型コロナの影響により当初計画比大幅に実施都市数は減りましたが、実施した各都市においては、Withコロナ時代のセミナーの在り方としてオンラインを積極的に活用の上、ライブまたは期間限定配信にてセミナーを実施。参加者の居住地域や移動時間、会場キャパシティによる参加人数の制約を受けない新たなセミナースタイル確立へ向けた端緒とすることができました。

2021年度は2020年度の経験も踏まえ、「オンラインセミナー」の特長を生かして従前の単一都市開催からセミナー参加者の居住地域に捉われない広域開催を指向し、運営を行ってまいります。

2. ケアする人のケアセミナー

「共助のあるまちづくり」をテーマに高知市で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、2021年度へ延期としました。

3. 遠距離介護セミナー

「親の医療ケアに伴う悩み」をテーマに東京で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、2021年度へ延期としました。

4. 子ども関係2事業

従前行っていた「子どものための児童館とNPOの協働事業(NPOどんどこプロジェクト)」及び「子どもエコ俳句大賞」については、財団他事業との親和性が低いことから、2020年度事業計画どおり、主催または共催先のNPO法人与協議し、2020年度をもって事業を終了しました。

各事業の実施状況は以下の通りです。

a. 子どものための児童館とNPOの協働事業(NPOどんどこプロジェクト)

28プログラムの応募があり、うち14都府県18プログラムに助成を行いました。

新たに秋田、福井、静岡でプログラムを実施した結果、これまでに本事業を実施した都道府県数は33となりました。3月5日のオンラインによる2020年度活動報告会では各児童館からの活動報告やグループディスカッション等を通じて知見を共有、今後の取り組みや連携に繋がる場とすることができました。

b. 子どもエコ俳句大賞

例年同様、近畿2府4県の小学生を対象に募集予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大による休校等の学校現場の混乱を踏まえ、共催先のNPO法人シニア自然大学校様とも協議の上、事業を中止としました。

Ⅲ 音楽文化振興事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4月に緊急事態宣言が発令され、政府・大阪府からの自粛要請を受けて、4月6日から5月末まで閉館を余儀なくされました。6月まで公演開催はなく、7月4日に公演再開ができましたが、「収容率50%以内」という政府のガイドラインが出たこともあり、公演数、ご来場者数ともに極めて厳しい状況にて推移いたしました。

	2020年度 ()は2019年度 (注1)		オープン以来 (注2)	
	公演数	入場者数	公演数	入場者数
主催公演	19 (22)	4, 539 (12, 485)	1, 153	668, 884
主催公演(人材養成事業)	6 (3)	72 (1, 129)		
共催公演	9 (11)	2, 099 (6, 319)		
貸館(一般公演)	55(135)	14, 619 (70, 110)	5, 807	3, 172, 070
貸館(レコーディング、式典等)	6 (17)			
合計	95(188)	21, 329 (90, 043)	6, 960	3, 840, 954

(注1) 主催には社外会場実施分、無観客配信公演も含む。

貸館(一般公演)には受託公演を含む。中止公演は公演数に含めていない。

(注2) オープン以来累計には休館中等の社外会場実施分、無観客配信公演は含めていない。

1. 主催公演

14公演が中止となり、追加4公演を含めて25公演、来場者数4, 611名(作曲講座受講生含む)となりました。

当ホール開館30周年、財団設立60周年の記念行事として4月25日に記念コンサートを開催する計画でしたが、延期を余儀なくされ、3月25日に開催することができました。

メイン企画の「古楽最前線」シリーズ最終年を迎えましたが、入国規制により海外アーティストの来日ができない中、富田庸氏(英国在住)に入国後14日間のホテル滞在を受け入れていただき、8月28日に「レクチャー ロ短調ミサ」を開催、102名にご来場をいただきました。一方、公演については2月の「ヨハネ受難曲」を除く5公演は中止となりました。

ホールのレジデント・オーケストラであるいずみシンフォニエッタ大阪は、7月4日の20周年記念となる「第44回定期演奏会」、2月に「第45回定期演奏会」を開催いたしました。

人材養成事業として、川島素晴氏を講師として「現代音楽作曲講座」を開催いたしました。レッスン5回＋発表会形式で、作曲家を目指す東西の学生等5名が受講し、聴講延べ47名、オンライン聴講延べ80名となりました。

普及啓発事業では、残念ながら、毎年親子を無料招待している「いずみ子どもカレッジ」、障がいのある方とそのサポーターのための「夢コンサート」は中止を余儀なくされました。1コイン500円の入場料で楽しんでいただけた「西村朗の音楽講座Ⅺ」は11月に345名の来場を得て開催いたしました。

また、年度計画にはありませんでしたが、コロナ禍でのホールブランドを維持する取組みとして、無観客配信公演を3公演開催いたしました。

2. 貸館、共催公演

多くの公演が中止、延期となり、また、収容率の規制もあり、公演数、来場者数ともに前年を大きく下

回りました。特に、3年毎に開催されている「大阪国際室内楽コンクール&フェスタ」も延期となりました。

一方、例年開催している Osaka Shion Wind Orchestraと提携した小学校(幼稚園保育所)合同鑑賞会では大阪市内の小学生等1,591名の来場を得て開催することができました。

3. オフィシャルスポンサー、オフィシャルサポーター、フレンズ会員

6月の「MUSIC SUPPLEMENT」、1月の「ニューイヤーコンサート」が中止となったため、それぞれ冠スポンサー等となっていた2社分の協賛金は得ることができませんでした。

有料会員である「フレンズ会員」制度ですが、ご案内できる公演が極めて少ない状況となったことから、5月より一年間、会費無料にて半年間延長する対応をし、退会防止に努めました。

4. 助成金、補助金

公的助成としては、文化庁(日本芸術文化振興会)の他、大阪府、大阪市より助成を得ることができました。

民間助成としては、花王・芸術科学財団、野村財団、三菱UFJ信託芸術文化財団より助成が得られました。

5. ホール名称の変更

4月1日にホール名が「住友生命いずみホール」に改称となりました。新しい和名ロゴデザイン等については10月1日から使用開始いたしました。

<新和名ロゴデザイン>

住友生命いずみホール

6. 新型コロナウイルス感染防止対策関連

ホール内の感染防止対策として、バーコーナー、クローク、喫煙所の閉鎖。消毒液の設置。スタッフのフェイスシールド着用。検温用のサーモカメラ、オゾン消毒機等の機器購入、アクリル板の設置工事等の対策を行いました。

職員の感染防止対策として、時短勤務、在宅勤務等の対応を行っております。

政府や大阪府等の関連助成金は適宜申請を行いました。一方、政府施策の「GOTO イベント事業」については参加を見送りました。

全主催公演は次の内容です(公演日、標題、演奏者、主な演奏曲名、入場者数を記載)。
実施した公演については全て客席数を50%以下に制限しました。

【古楽最前線—躍動するバロック 2020 降り注ぐ愛—J.S.バッハ(全6公演)】

9/10 (木) 延期日程 3/16 (火)	Vol.1 クリストフ・ルセ チェンバロ・リサイタル 出演／クリストフ・ルセ(チェンバロ) 曲目／フランソワ・クーブラン:クラヴサン曲集 第2巻より 第8組曲 J.S.バッハ:フランス風序曲 ロ短調 BWV831 ほか	延期の 後中止
9/25 (金)	Vol.2 《ロ短調ミサ》 出演／ルドルフ・ルッツ(指揮)、J.S.バッハ財団管弦楽団&合唱団 M.L.ヴェルネブルク(ソプラノ)、A.ポッター(カウンターテナー) G.ポプルツ(テノール)、M.ヘルム(バリトン) 曲目／J.S.バッハ:《ロ短調ミサ》 BWV232	中止
10/31 (土) 延期日程 1/28 (木)	Vol.3 《マタイ受難曲》 出演／シギスヴァルト・クイケン(指揮、ヴァイオリン)、ラ・プテット・バンド A.グシュヴェント、M.クイケン(ソプラノ)、L.ナポリ、 M.ヘルツォーク(アルト)、S.シエルペ(テノール&エヴァンゲリスト)、 F.ケリー(テノール)、S.ヴォック(バス&イエス)、C.ワグナー(バス) 曲目／J.S.バッハ:《マタイ受難曲》 BWV244	延期の 後中止
12/10 (木) 12/11 (金)	Vol.4 ジャン＝ギアン・ケラス 無伴奏チェロ・リサイタル 出演／ジャン＝ギアン・ケラス(チェロ) 曲目／J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲全曲 (第1夜)第1番 BWV1007、第4番 BWV1010、第5番 BWV1011 (第2夜)第2番 BWV1008、第3番 BWV1009、第6番 BWV1012	中止
2/20 (土)	Vol.5 《ヨハネ受難曲》 出演／鈴木雅明(指揮)、バッハ・コレギウム・ジャパン 松井亜紀(ソプラノ)、久保法之(アルト、カウンターテナー) 櫻田 亮(テノール、エヴァンゲリスト) 谷口洋介(テノール)、加未 徹(バス) 曲目／J.S.バッハ:《ヨハネ受難曲》 BWV245	274

【新・音楽の未来への旅シリーズ】

7/4 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第44回定期演奏会 「天使と神々の幻想」—20周年記念公演— 出演／飯森範親(指揮)、藤原道山(尺八)、郷古 廉(ヴァイオリン) 曲目／川島素晴:尺八協奏曲 ベルク:ヴァイオリン協奏曲「ある天使の思い出に」 西村 朗:12奏者と弦楽のための〈ヴィカラーラ〉(委嘱新作/2020)	347
2/6 (土)	いずみシンフォニエッタ大阪 第45回定期演奏会 「飛翔する感性」 出演／大井剛史(指揮)、上野耕平(サクソフォン) 曲目／I.ストラヴィンスキー:ダンス・コンセルタント(1942) J.ヒグドン:ソプラノサクソフォン協奏曲(2005) 酒井健治:Photons(2015) M.カーゲル:DIVERTIMENTO? (2005-06)	267

【バッハ・オルガン作品全曲演奏会 アンコール企画】

8/29 (木)	Vol.3 ロレンツォ・ギエルミ 出演／ロレンツォ・ギエルミ(パイプオルガン) 曲目／ブルーンス:プレリュディウム ト長調 ブクステフーデ:プレリュディウム ト短調 BuxWV149 J.S.バッハ:幻想曲 BWV 573 (未完、補完:L.ギエルミ) トッカータとフーガ ニ短調 BWV 565 ほか	中止
2/22 (土)	Vol.4 オリヴィエ・ラトリー 出演／オリヴィエ・ラトリー(パイプオルガン) 曲目／J.S.バッハ:《音楽の捧げもの》より「6 声のリチェルカーレ」 BWV1079 J.S.バッハ:オルガン小曲集 & ジャン＝ピエール・ルゲ:「前奏曲集」 C.M.ヴィドール:《バッハの思い出》より 第6 番 マタイ受難曲・終曲 B.マッテル:《われは神より離れまじ BWV 658》による幻想曲 O.ラトリー:即興 ほか	中止

【午後の特等席】

5/26 (火)	Vol.3 アルベナ・ダナイローヴァ 出演／アルベナ・ダナイローヴァ(ヴァイオリン)、浜野与志男(ピアノ) 曲目／ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第5 番 ヘ長調「春」op.24 チャイコフスキー:「なつかしい土地の思い出」より ヴィエニャフスキ:華麗なるポロネーズ 第2 番 イ長調 op.21 クライスラー:愛の悲しみ／愛の喜び／美しきロスマリン ほか	中止
10/16 (金)	Vol.4 IL DEVU 出演／IL DEVU【声楽アンサンブル】 曲目／山田耕筰:かやの木山の、あわて床屋、からたちの花 木下牧子:さびしいカシの木、ロマンチストの豚、鷗 三木たかし:アンパンマンのマーチ ほか	202

【新・ランチタイム・コンサート (企画・構成、お話:岡田暁生)】

6/17 (水)	Vol.9 「モーツァルトのオペラと恋の手管」 出演／三原 剛(バリトン)、北野加織(ソプラノ)、辻川謙次(ピアノ) 曲目／モーツァルト:《ドン・ジョヴァンニ》より「お手をどうぞ」 《フィガロの結婚》より「もう訴訟に勝っただと?」 ほか	次年度 に延期
9/2 (水)	Vol.10 「華麗とエレガンスとポエジー ロマン派ピアノ曲の精髓を味わう」 出演／岡田 将(ピアノ) 曲目／ワーグナー／リスト編:イゾルデの愛の死 ショパン:バラード 第4番 ヘ短調 op.52 シューマン:パピヨン op.2 ほか	259
12/2 (水)	Vol.11 「魔界からの誘惑」 出演／木野雅之(ヴァイオリン)、北住 淳(ピアノ) 曲目／サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 op.28 サラサーテ:ツィゴイネルワイゼン op.20 ほか	327

3/10 (水)	Vol.12 「20世紀音楽」は面白い 出演／中川俊郎、小坂圭太(ピアノ連弾) 曲目／ケージ:4分33秒 より 中川俊郎:『4つの厳粛なバガテル』 ストラヴィンスキー:春の祭典 より ほか	318
-------------	--	-----

【その他公演】

4/25 (土) 延期日程 3/25 (木)	30周年記念コンサート「to the NEXT！」 出演／飯森範親(指揮)、田部京子(ピアノ)、富田一樹(パイプオルガン) いずみシンフォニエッタ大阪 曲目／J.S.バッハ:G線上のアリア、トッカータとフーガ ニ短調 BWV565 ベートーヴェン(川島素晴編):ピアノ協奏曲 第5番《皇帝》 西村 朗:ベートーヴェンの8つの交響曲による小交響曲 モーツァルト:交響曲 第41番 ハ長調 K.551《ジュピター》	延期の 後実施 335
6/12 (金)	Music Supplement Vol.14 出演／LEO(箏)、尾崎勇太(フルート) 曲目／当日発表	次年度 に延期
6/30 (火)	レ・ヴァン・フランセ 出演／レ・ヴァン・フランセ【木管アンサンブル】 曲目／ベートーヴェン:ピアノと管楽のための五重奏曲 変ホ長調 op.16 プーランク:六重奏曲 FP100 ほか	中止
8/10 (月)	Summer Vacation Concert「ロザンと一緒にパイプオルガンで世界旅行2020」 出演／土橋 薫(パイプオルガン)、ロザン(司会) 曲目／J.S.バッハ:前奏曲 ハ長調 BWV846／小フーガ ト短調 BWV578 バルバトル:ラ・マルセイエーズとサ・イラ ヴィエルヌ:ウェストミンスターの鐘 ほか	290
9/14 (月)	シネマヒットパレード 【前年度3/26からの延期】 出演／横山 奏(指揮)、岡部まり(ナビゲーター)、大阪交響楽団 曲目／山本直純:「男はつらいよ」／ローゼンマン:「エデンの東」 ロータ:「太陽がいっぱい」、「ゴッドファーザー」愛のテーマ ロジャース:「サウンド・オブ・ミュージック」 ほか	230
9/29 (火)	IZUMI JAZZ NIGHT 2020 【出演者を変更して実施】 出演／小曾根真(ピアノ)、エリック・ミヤシロ(トランペット) 曲目／Makoto Ozone:Always Together／Wishy Washy／Need to Walk Eric Miyashiro:Skydance ほか	364
11/25 (水)	小菅 優ピアノ・リサイタル Four Elements Vol.4 大地 出演／小菅 優(ピアノ) 曲目／ベートーヴェン:バレエ「森の乙女」のロシア舞曲の主題による変奏曲 シューベルト:幻想曲 ハ長調 D760 「さすらい人」 藤倉 大:Akiko's Diary ショパン:ピアノ・ソナタ 第3番 ロ短調 op.58 ほか	301
12/17 (木)	庄司紗矢香&ヴィキングル・オラフソン 出演／庄司紗矢香(ヴァイオリン)、ヴィキングル・オラフソン(ピアノ) 曲目／J.S.バッハ:ヴァイオリン・ソナタ 第5番 ヘ短調 BWV1018 バルトーク:ヴァイオリン・ソナタ 第1番 Sz.75 プロコフィエフ:5つのメロディ op.35bis ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.100	309

1/6 (水)	ニューイヤー・コンサート2021 出演／ウィーン・リング・アンサンブル 曲目／J.シュトラウスⅡ:ポルカ・シュネル「観光列車」、ワルツ「南国のばら」 ヨーゼフ・シュトラウス:ワルツ「オーストリアの村つばめ」 J.シュトラウスⅠ:ケッテンブリュッケ・ワルツ ほか	中止
1/13 (水)	樫本大進&キリル・ゲルシュタイン 出演／樫本大進(ヴァイオリン)、キリル・ゲルシュタイン(ピアノ) 曲目／プロコフィエフ:5つのメロディー op.35bis フランク:ヴァイオリン・ソナタ イ長調 武満 徹:妖精の距離 ベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 「クロイツェル」	335

【普及事業】

7/28 (火)	いずみ子どもカレッジ2020 スギテツ 出演／スギテツ 杉浦哲郎(ピアノ)、岡田鉄平(ヴァイオリン)	次年度 に延期
8/28 (金)	古楽最前線！－躍動するバロック2020降り注ぐ愛－J.S.バッハ【特別企画】 レクチャー「《ロ短調ミサ》の謎と魅力」 講師／富田 庸(英国ベルファスト・クイーンズ大学教授) 会場／ホテルニューオータニ大阪 鳳凰の間 内容／J.S.バッハ《ロ短調ミサ》の作品背景や近年の研究成果を紹介しながら、作品鑑賞の手助けとなる講座を開講した。	102
10/6 (火)	第18回夢コンサート 出演／藤岡幸夫(指揮)、関西フィルハーモニー管弦楽団	次年度 に延期
11/11 (水)	西村 朗の音楽講座XI 「珠玉のベートーヴェン～極めつきの名作にみる独創性」 出演／西村 朗(お話)、いずみシンフォニエッタ大阪メンバー 曲目／ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第1番 ヘ短調 op.2-1 より バガテル イ短調「エリーゼのために」WoO 59 「トルコ行進曲」による変奏曲 ニ長調 op.76 ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 op.47 より ほか	345

【人材養成事業】

7/4(土) ～8/18 (火) 成果発表 8/18 (火)	青少年のための現代音楽作曲講座 -実演を通じて拓く音楽の未来- 講師／川島素晴(作曲家) 演奏／いずみシンフォニエッタ大阪メンバー 内容／5回の講座での作品指導と、成果発表会 受講生は高校生から大学院生までの5名 5回の講座は現場での聴講と配信による聴講が可能。 聴講実績／現場での聴講者数【9名／2名／2名／2名／4名】 配信聴講者数【26名／21名／17名／16名／16名】	28
--	---	----

IV 財団組織運営に関する事項

1. 公益目的支出計画実施報告書等の提出

2013年4月1日の一般財団法人住友生命福祉文化財団移行後7年を経過し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定により、2019年度の公益目的支出計画実施報告書等を2020年6月に内閣府宛提出しました。

2013年4月1日移行時の公益目的財産額	2,906,799,046円
2019年度末日の公益目的収支差額	2,401,729,954円
2019年度末日の公益目的財産残額	505,069,092円

2. 評議員会・理事会開催状況

評議員会・理事会の開催実績は以下のとおりです。

【評議員会】

定時 2020年6月19日

2019年度事業報告について(報告事項)

2019年度計算書類承認の件

理事9名選任の件

監事2名選任の件

2019年度公益目的支出計画実施報告書について(報告事項)

2020年度事業計画書及び収支予算書について(報告事項)

【理事会】

第1回 2020年6月5日 ※定款第35条に規定する決議の省略による。

2019年度事業報告及び計算書類等承認の件

2019年度公益目的支出計画実施報告書承認の件

理事候補者9名選出の件

監事候補者2名選出の件

2020年度定時評議員会開催の決定の件

第2回 2020年6月19日

理事長(代表理事)選定の件

常務理事(業務執行理事)選定の件

理事の担当職務承認の件

理事長代行順位承認の件

使用人職務の委嘱承認の件

役員報酬額決定の件

2020年度職務執行状況について(報告事項)

第3回 2021年3月15日

2021年度事業計画書及び収支予算書承認の件

利益相反取引承認の件

2020年度職務執行状況について(報告事項)

利益相反取引結果について(報告事項)

3. 内部統制に関する報告

【内部統制に関する基本方針】(2013年4月1日制定、2015年5月29日改定)

- (1) 理事及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
- (2) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する体制
- (3) 損失の危険の管理に関する規程
- (4) 理事の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制
- (5) 監事とその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人及びその独立性に関する事項及び当該使用人に対する指示の実効性確保に関する事項
- (6) 理事及び使用人が監事に報告するための体制その他の監事への報告に関する体制及び当該報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利益な取扱いを受けないことを確保するための体制
- (7) 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続きその他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項
- (8) その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

経営に重大な影響を与える事案や受益者等の利益が著しく阻害される事案等は発生していません。各規程に定める理事会及び監事への報告事項は次頁のとおりです。

規程名	報告内容	2020年度状況
法令等遵守規程	コンプライアンスプログラムの遂行状況・達成状況	遂行状況・達成状況について問題なし。
	法令等遵守状況	法令等遵守状況について問題なし。
内部通報規程	内部通報制度で受け付けた通報・相談内容及び処理内容	内部通報制度で受け付けた通報・相談なし。
反社会的勢力対策規程	反社会的勢力への対応状況	反社会的勢力が関与する事案はなし。
受益者管理指針	相談・苦情等について	経営に重大な影響を与える、又は受益者の利益が著しく阻害されると判断される事案はなし。
受益者情報管理規程	受益者情報の管理状況	受益者情報の管理状況について問題なし。
外部委託管理規程	各委託元部署から集約した外部委託管理の全社状況その他の重要事項	外部委託先管理において問題となる事項はなし。
リスク管理規程	リスクの状況等	経営に重大な影響を与えると判断される事案はなし。
内部管理法内検証規程	検証結果	問題となる事項なし。

4. 評議員・役員の状況

2020年度における異動は次のとおりです。(敬称略)

2020年 6月19日	理事	退任(任期满了)	三野 哲治
	理事	重任	宇高 不可思
	理事	重任	塩野 元三
	理事	重任	高城 淳一
	理事	重任	殿納 義雄
	理事	重任	中村 孝義
	理事	重任	野呂 幸雄
	理事	重任	林 紀夫
	理事	重任	堀本 葉子
	監事	重任	上野 博明
	監事	重任	田中 英行
	理事	新任	香曾我部 武

評 議 員 名 簿（敬称略）

（2021年3月31日現在）

評議員	小栗 まち絵	相愛大学大学院音楽研究科 教授 東京音楽大学 特任教授・ヴァイオリニスト
評議員	川木 一正	曾根崎法律事務所 弁護士
評議員	楠岡 英雄	独立行政法人 国立病院機構 理事長
評議員	斉藤 弥生	大阪大学大学院人間科学研究科 教授
評議員	佐藤 義雄	住友生命保険相互会社 取締役会長代表執行役
評議員	中嶋 直躬	コクヨ株式会社 社友・元専務取締役
評議員	山中 斉	住友生命保険相互会社 ブランドコミュニケーション部長

役 員 名 簿（敬称略）

（2021年3月31日現在）

理事長	野呂 幸雄	住友生命保険相互会社 特別顧問・元取締役代表執行役専務
常務理事	殿納 義雄	一般財団法人住友生命福祉文化財団 住友生命いずみホール事業局長
常務理事	高城 淳一	一般財団法人住友生命福祉文化財団 本部事務局長
理事	宇高 不可思	一般財団法人住友病院 特別顧問
理事	香曾我部 武	大和ハウス工業株式会社 代表取締役副社長 経営管理本部長
理事	塩野 元三	塩野義製薬株式会社 特別顧問
理事	中村 孝義	学校法人大阪音楽大学 理事長
理事	林 紀夫	独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院 病院長
理事	堀本 葉子	一般財団法人住友生命福祉文化財団 住友生命総合健診システム所長
監事	上野 博明	上野博明事務所 公認会計士・税理士
監事	田中 英行	宮崎綜合法律事務所 弁護士

5. その他

附属明細書として、事業報告の内容を補足すべき重要事項はありません。

以上

貸借対照表

2021年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金 預金	1,009,206,095	994,307,405	14,898,690
未収 収益	639,083	706,639	-67,556
未収 蔵品	178,420,477	155,777,642	22,642,835
貯蔵 替金	14,775,127	10,003,734	4,771,393
立替 費用	18,113	53,288	-35,175
前払 費	4,778,661	7,069,667	-2,291,006
未収 還付 法人 税 等	2,462	473	1,989
	1,207,840,018	1,167,918,848	39,921,170
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資 有価 証券	694,469,902	654,505,387	39,964,515
普通 預金	6,039,350	46,039,350	-40,000,000
基本財産合計	700,509,252	700,544,737	-35,485
(2) 特定資産			
退職 給付 引当 資産	203,954,520	190,903,520	13,051,000
特定資産合計	203,954,520	190,903,520	13,051,000
(3) その他固定資産			
建物 附属 設備	27,008,044	32,184,966	-5,176,922
構築 物	1,808,243	1,866,151	-57,908
什器 備品	139,967,782	142,851,697	-2,883,915
ソフ ト ウ エ ア	30,450,182	40,004,562	-9,554,380
投資 有価 証券	244,872,713	244,507,463	365,250
電話 加入 権	432,000	432,000	0
敷金	4,652,000	4,652,000	0
長期 前払 費用	115,556	392,889	-277,333
その他固定資産合計	449,306,520	466,891,728	-17,585,208
固定資産合計	1,353,770,292	1,358,339,985	-4,569,693
資産合計	2,561,610,310	2,526,258,833	35,351,477
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払 費用	77,502,114	70,822,611	6,679,503
未払 費	9,313,877	9,493,917	-180,040
預り 金	3,503,916	9,621,414	-6,117,498
前受 金	29,397,540	37,987,700	-8,590,160
賞与 引当 金	46,153,485	44,317,192	1,836,293
未払 法人 税 等	120,000	120,000	0
未払 消費税 等	18,631,300	17,201,300	1,430,000
流動負債合計	184,622,232	189,564,134	-4,941,902
2. 固定負債			
退職 給付 引当 金	290,473,000	233,292,502	57,180,498
固定負債合計	290,473,000	233,292,502	57,180,498
負債合計	475,095,232	422,856,636	52,238,596
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付 金	699,189,006	699,224,491	-35,485
指定正味財産合計	699,189,006	699,224,491	-35,485
(うち基本財産への充当額)	699,189,006	699,224,491	-35,485
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,387,326,072	1,404,177,706	-16,851,634
(うち特定資産への充当額)	1,320,246	1,320,246	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	2,086,515,078	2,103,402,197	-16,887,119
負債及び正味財産合計	2,561,610,310	2,526,258,833	35,351,477

(注) 実施事業資産は次のとおりである。

建物 附属 設備	2,315,983
構築 物	1,808,243
什器 備品	7,324,933
ソフ ト ウ エ ア	608,668
	<u>12,057,827</u>

正味財産増減計算書

2020年 4月 1日から2021年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,118,455	5,748,291	-1,629,836
基本財産受取利息	4,118,455	5,748,291	-1,629,836
事業収益	1,054,806,018	1,245,154,442	-190,348,424
健康事業収益	971,175,757	1,058,695,796	-87,520,039
いずみ事業収益	83,630,261	186,458,646	-102,828,385
受取補助金等	87,968,729	31,468,915	56,499,814
受取補助成金	87,968,729	31,468,915	56,499,814
受取寄付金	385,000,000	385,000,000	0
受取寄付金	385,000,000	385,000,000	0
雑収益	1,087,978	2,473,685	-1,385,707
受取利息	478,245	950,475	-472,230
雑収益	609,733	1,523,210	-913,477
経常収益計	1,532,981,180	1,669,845,333	-136,864,153
(2) 経常費用			
事業費	1,531,385,891	1,657,745,812	-126,359,921
役員報酬	10,500,000	10,500,000	0
給料手当	346,411,066	355,888,636	-9,477,570
臨時雇賃金	295,312,336	271,322,626	23,989,710
退職給付費用	63,450,091	29,831,289	33,618,802
福利厚生費	77,297,119	80,787,250	-3,490,131
広告宣伝費	8,372,186	10,132,273	-1,760,087
旅費交通費	22,327,841	25,740,309	-3,412,468
通信運搬費	20,486,979	20,602,567	-115,588
減価償却費	64,188,481	63,968,082	220,399
消耗什器備品費	617,300	3,629,865	-3,012,565
消耗品費	15,044,605	11,952,721	3,091,884
健康消耗品費	102,134,252	117,745,682	-15,611,430
修繕費	21,782,514	21,504,978	277,536
印刷製本費	7,471,031	8,746,999	-1,275,968
光熱水料費	14,260,179	15,853,392	-1,593,213
賃借料	151,794,749	152,082,893	-288,144
保険料	936,635	1,229,003	-292,368
諸謝金	910,178	777,850	132,328
会議・交際費	1,872,259	2,001,472	-129,213
租税公課	21,435,601	22,562,574	-1,126,973
支払負担金	1,555,520	1,274,996	280,524
支払助成金	3,000,000	3,000,000	0
委託費	135,178,966	219,833,933	-84,654,967
雑費	11,789,136	9,894,833	1,894,303
いずみホール管理費	69,786,856	83,457,144	-13,670,288
公演企画制作費	63,470,011	113,424,445	-49,954,434
管理費	18,800,009	16,975,306	1,824,703
役員報酬	3,800,000	3,800,000	0
給料手当	6,087,605	4,684,677	1,402,928
退職給付費用	192,407	31,204	161,203
福利厚生費	2,880,050	2,832,552	47,498
旅費交通費	384,711	251,623	133,088
通信運搬費	19,625	20,810	-1,185
減価償却費	11,130	10,510	620
消耗品費	211,871	2,753	209,118
修繕費	1,678	3,382	-1,704
印刷製本費	205,058	0	205,058
光熱水料費	52,825	59,143	-6,318
賃借料	591,564	591,032	532
保険料	151,601	152,509	-908
諸謝金	1,260,000	1,200,000	60,000
会議・交際費	499,875	648,483	-148,608
租税公課	1,340,817	1,559,520	-218,703
支払負担金	140,126	144,765	-4,639
支払寄付金	20,000	70,000	-50,000
委託費	794,688	764,906	29,782
雑費	154,378	147,437	6,941
経常費用計	1,550,185,900	1,674,721,118	-124,535,218
評価損益等調整前当期経常増減額	-17,204,720	-4,875,785	-12,328,935
投資有価証券評価損益等	353,100	-457,100	810,200
評価損益等計	353,100	-457,100	810,200
当期経常増減額	-16,851,620	-5,332,885	-11,518,735
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	14	108,155	-108,141
什器備品除却損	14	108,155	-108,141
経常外費用計	14	108,155	-108,141
当期経常外増減額	-14	-108,155	108,141
当期一般正味財産増減額	-16,851,634	-5,441,040	-11,410,594
一般正味財産期首残高	1,404,177,706	1,409,618,746	-5,441,040
一般正味財産期末残高	1,387,326,072	1,404,177,706	-16,851,634
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	4,234,570	5,894,879	-1,660,309
基本財産受取利息	4,234,570	5,894,879	-1,660,309
基本財産評価益	100,000	0	100,000
基本財産評価損	100,000	0	100,000
基本財産評価損	251,600	140,000	111,600
基本財産評価損	251,600	140,000	111,600
一般正味財産への振替額	-4,118,455	-5,748,291	1,629,836
当期指定正味財産増減額	-35,485	6,588	-42,073
指定正味財産期首残高	699,224,491	699,217,903	6,588
指定正味財産期末残高	699,189,006	699,224,491	-35,485
III 正味財産期末残高	2,086,515,078	2,103,402,197	-16,887,119

正味財産増減計算書内訳表

2020年 4月 1日から2021年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	実施事業等会計			その他会計			法人会計	合 計
	福祉事業	音楽文化振興事業	小 計	予防医学振興事業	式典等貸館事業	小 計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	4,118,455	4,118,455
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	4,118,455	4,118,455
事業収益	0	79,583,432	79,583,432	971,175,757	4,046,829	975,222,586	0	1,054,806,018
健診事業収益	0	0	0	971,175,757	0	971,175,757	0	971,175,757
いずみ事業収益	0	79,583,432	79,583,432	0	4,046,829	4,046,829	0	83,630,261
受取補助金等	216,539	30,983,729	31,200,268	56,660,191	0	56,660,191	108,270	87,968,729
受取補助成金	216,539	30,983,729	31,200,268	56,660,191	0	56,660,191	108,270	87,968,729
受取寄付金	0	0	0	185,500,000	0	185,500,000	199,500,000	385,000,000
受取寄付金	0	0	0	185,500,000	0	185,500,000	199,500,000	385,000,000
雑受取収益	0	588,551	588,551	37,277	0	37,277	462,150	1,087,978
雑受取利息	0	0	0	16,095	0	16,095	462,150	478,245
雑受取収益	0	588,551	588,551	21,182	0	21,182	0	609,733
経常収益計	216,539	111,155,712	111,372,251	1,213,373,225	4,046,829	1,217,420,054	204,188,875	1,532,981,180
(2) 経常費用								
事業費	54,328,599	333,936,830	388,265,429	1,137,589,408	5,531,054	1,143,120,462	0	1,531,385,891
役員報酬	2,400,000	5,682,000	8,082,000	2,400,000	18,000	2,418,000	0	10,500,000
給料手当	9,165,671	100,039,567	109,205,238	236,056,475	1,149,353	237,205,828	0	346,411,066
臨時雇賃金	0	12,503,126	12,503,126	282,462,941	346,269	282,809,210	0	295,312,336
退職給付費用	384,815	3,014,694	3,399,509	60,014,276	36,306	60,050,582	0	63,450,091
福利厚生費	3,769,578	22,785,873	26,555,451	50,481,870	259,798	50,741,668	0	77,297,119
広告宣伝費	0	7,563,162	7,563,162	704,715	104,309	809,024	0	8,372,186
旅費交通費	748,102	4,267,568	5,015,670	17,240,561	71,610	17,312,171	0	22,327,841
通信搬送費	14,778	5,243,312	5,258,090	15,191,244	37,645	15,228,889	0	20,486,979
減価償却費	0	4,275,840	4,275,840	59,851,217	61,424	59,912,641	0	64,188,481
消耗什器備品費	0	0	0	617,300	0	617,300	0	617,300
消耗品費	81,252	1,597,168	1,678,420	13,327,227	38,958	13,366,185	0	15,044,605
健診消耗品費	0	0	0	102,134,252	0	102,134,252	0	102,134,252
修繕費	0	634,989	634,989	21,138,682	8,843	21,147,525	0	21,782,514
印刷製本費	0	5,546,954	5,546,954	1,912,449	11,628	1,924,077	0	7,471,031
光熱水料費	57,243	3,841,437	3,898,680	10,307,999	53,500	10,361,499	0	14,260,179
賃借料	766,594	7,606,026	8,372,620	143,316,198	105,931	143,422,129	0	151,794,749
保険料	2,149	365,314	367,463	553,475	15,697	569,172	0	936,635
諸謝金	0	873,814	873,814	36,364	0	36,364	0	910,178
会議・交際費	0	79,238	79,238	1,792,357	664	1,793,021	0	1,872,259
租税公課	3,966,096	6,470,640	10,436,736	10,930,223	68,642	10,998,865	0	21,435,601
支払負担金	0	577,676	577,676	969,800	8,044	977,844	0	1,555,520
支払助成金	0	0	0	3,000,000	0	3,000,000	0	3,000,000
委託託費	32,965,721	6,657,204	39,622,925	95,408,634	147,407	95,556,041	0	135,178,966
いずみホール管理費	6,600	3,920,598	3,927,198	7,741,149	120,789	7,861,938	0	11,789,136
公演企画制作費	0	66,920,619	66,920,619	0	2,866,237	2,866,237	0	69,786,856
管 理 費	0	63,470,011	63,470,011	0	0	0	0	63,470,011
役員報酬	0	0	0	0	0	0	18,800,009	18,800,009
給料手当	0	0	0	0	0	0	3,800,000	3,800,000
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	6,087,605	6,087,605
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	192,407	192,407
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	2,880,050	2,880,050
通信搬送費	0	0	0	0	0	0	384,711	384,711
減価償却費	0	0	0	0	0	0	19,625	19,625
消耗品費	0	0	0	0	0	0	11,130	11,130
修繕費	0	0	0	0	0	0	211,871	211,871
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	1,678	1,678
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	205,058	205,058
賃借料	0	0	0	0	0	0	52,825	52,825
保険料	0	0	0	0	0	0	591,564	591,564
諸謝金	0	0	0	0	0	0	151,601	151,601
会議・交際費	0	0	0	0	0	0	1,260,000	1,260,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	499,875	499,875
支払負担金	0	0	0	0	0	0	1,340,817	1,340,817
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	140,126	140,126
委託託費	0	0	0	0	0	0	20,000	20,000
雑費	0	0	0	0	0	0	794,688	794,688
雑費	0	0	0	0	0	0	154,378	154,378
経常費用計	54,328,599	333,936,830	388,265,429	1,137,589,408	5,531,054	1,143,120,462	18,800,009	1,550,185,900
評価損益等調整前当期経常増減額	-54,112,060	-222,781,118	-276,893,178	75,783,817	-1,484,225	74,299,592	185,388,866	-17,204,720
評価損益等計	0	0	0	353,100	0	353,100	0	353,100
当期経常増減額	-54,112,060	-222,781,118	-276,893,178	76,136,917	-1,484,225	74,652,692	185,388,866	-16,851,620
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	1	0	1	13	0	13	0	14
什器備品除却損	1	0	1	13	0	13	0	14
経常外費用計	1	0	1	13	0	13	0	14
当期経常外増減額	-1	0	-1	-13	0	-13	0	-14
当期一般正味財産増減額	-54,112,061	-222,781,118	-276,893,179	76,136,904	-1,484,225	74,652,679	185,388,866	-16,851,634
一般正味財産期首残高	-999,250,079	-1,208,724,870	-2,207,974,949	1,785,316,515	-5,123,848	1,780,192,667	1,831,959,988	1,404,177,706
一般正味財産期末残高	-1,053,362,140	-1,431,505,988	-2,484,868,128	1,861,453,419	-6,608,073	1,854,845,346	2,017,348,854	1,387,326,072
II 指定正味財産増減の部								
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	4,234,570	4,234,570
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	4,234,570	4,234,570
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	251,600	251,600
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	251,600	251,600
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	-4,118,455	-4,118,455
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	-35,485	-35,485
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	699,224,491	699,224,491
III 正味財産期末残高	-1,053,362,140	-1,431,505,988	-2,484,868,128	1,861,453,419	-6,608,073	1,854,845,346	2,716,537,860	2,086,515,078

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・移動平均法による償却原価法(定額法)によっている。

その他有価証券

時価のあるもの・・・期末日の市場価額等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの・・・移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品・・・個別法による原価法によっている。

(3) 有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法

定額法によっている。(耐用年数及び残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)

(4) 無形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法

定額法によっている。(耐用年数及び残存価額は法人税法に規定する方法と同一の基準)

(5) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、退職一時金については当事業年度末における自己都合要支給額に相当する金額、退職年金については年金の将来支給予定額を現在価値に割り引いた金額を計上している。

なお、会計基準変更時差異については、15年による按分額を費用処理している。

賞与引当金・・・・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(6) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	654,505,387	300,216,115	260,251,600	694,469,902
普通預金	46,039,350		40,000,000	6,039,350
小 計	700,544,737	300,216,115	300,251,600	700,509,252
特定資産				
退職給付引当資産	190,903,520	13,051,000	0	203,954,520
小 計	190,903,520	13,051,000	0	203,954,520
合 計	891,448,257	313,267,115	300,251,600	904,463,772

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	694,469,902	694,469,902	0	0
普通預金	6,039,350	4,719,104	1,320,246	0
小 計	700,509,252	699,189,006	1,320,246	0
特定資産				
退職給付引当資産	203,954,520	0	0	203,954,520
小 計	203,954,520	0	0	203,954,520
合 計	904,463,772	699,189,006	1,320,246	203,954,520

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	655,948,450	628,940,406	27,008,044
構築物	2,797,498	989,255	1,808,243
什器備品	687,968,037	548,000,255	139,967,782
ソフトウェア	85,324,571	54,874,389	30,450,182
合 計	1,432,038,556	1,232,804,305	199,234,251

5. 偶発債務

事務所及び診療施設に関して、賃貸借契約に基づく賃貸借契約終了時の原状回復義務を有しているが、その見積額は、360,000,000円である。なお、当財団は建物の取壊しまで賃貸借契約を継続する意向であり、その場合には原状回復を行うことなく建物の取壊しが行われると考えられることから、損失の発生の可能性は低いと判断している。

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国 債	339,738,215	345,463,570	5,725,355
合 計	339,738,215	345,463,570	5,725,355

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
寄付金						
基本財産充当寄付金	住友生命保険相互会社	699,224,491	0	35,485	699,189,006	指定正味財産
2020年度寄付金	住友生命保険相互会社	0	385,000,000	385,000,000	0	一般正味財産
助成金						
2020年度文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)	独立行政法人日本芸術文化振興会	0	21,073,461	21,073,461	0	一般正味財産
2020年度文化芸術振興費補助金(文化施設の感染症防止対策事業)	文化庁	0	1,222,540	1,222,540	0	一般正味財産
11/25、1/13公演コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金	経済産業省	0	732,000	732,000	0	一般正味財産
2020年度芸術活動振興事業助成金	大阪市	0	3,000,000	3,000,000	0	一般正味財産
2020年度芸術文化振興補助金	大阪府	0	1,000,000	1,000,000	0	一般正味財産
文化芸術活動(無観客ライブ配信)支援事業補助金	大阪府	0	700,000	700,000	0	一般正味財産
雇用調整助成金	大阪労働局	0	34,620,000	34,620,000	0	一般正味財産
緊急雇用安定助成金	大阪労働局	0	24,020,728	24,020,728	0	一般正味財産
新・音楽の未来への旅シリーズ2020助成金	公益財団法人花王芸術・科学財団	0	700,000	700,000	0	一般正味財産
2/6公演助成金	公益財団法人野村財団	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
7/4公演助成金	公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団	0	400,000	400,000	0	一般正味財産
合 計		699,224,491	472,968,729	473,004,214	699,189,006	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息振替額 (償却原価法によるものを除く)	4,118,455
合 計	4,118,455

9. 金融商品に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、預金及び債券により資産運用し、デリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

有価証券及び投資有価証券は、債券であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資金運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資金運用規程に基づき行っている。

② 信用リスクの管理

発行体の状況等を定期的に把握し、理事会に報告している。

③ 市場リスクの管理

関連する市場の動向等を把握し、理事会に報告している。

10. その他

(1) 退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金及び退職年金制度を設けている。

②退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

退職給付債務	-290,473,000
会計基準変更時差異の未処理額	0
退職給付引当金	-290,473,000

③退職給付費用に関する事項

(単位:円)

勤務費用	57,212,000
会計基準変更時差異の費用処理額	6,430,498
退職給付費用	63,642,498

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職一時金制度に基づく期末の自己都合要支給額及び退職年金制度に基づく将来支給予定額を現在価値に割り引いた金額を計算の基礎としている。

⑤会計基準変更時差異の処理年数

15年

(2) 資産除去債務

事務所及び診療施設に関して、賃貸借契約に基づく賃貸借契約終了時の原状回復義務を有しているが、当財団は建物の取壊しまで賃貸借契約を継続する意向であり、その場合には原状回復を行うことなく建物の取壊しが行われると考えられることから、資産除去債務を計上していない。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細書

財務諸表に対する注記に記載しており、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細書

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	44,317,192	46,153,485	44,317,192	0	46,153,485
退 職 給 付 引 当 金	233,292,502	63,642,498	6,462,000	0	290,473,000

予算対比正味財産増減計算書(参考資料)

2020年 4月 1日から2021年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,247,000	4,118,455	128,545
基本財産受取利息	4,247,000	4,118,455	128,545
事業収益	1,301,577,000	1,054,806,018	246,770,982
健診事業収益	1,096,203,000	971,175,757	125,027,243
いずみ事業収益	205,374,000	83,630,261	121,743,739
受取補助金等	29,700,000	87,968,729	-58,268,729
受取補助金	29,700,000	87,968,729	-58,268,729
受取寄付金	385,000,000	385,000,000	0
受取寄付金	385,000,000	385,000,000	0
雑収益	962,000	1,087,978	-125,978
受取利息	468,000	478,245	-10,245
雑収益	494,000	609,733	-115,733
経常収益計	1,721,486,000	1,532,981,180	188,504,820
(2) 経常費用			
事業費	1,747,485,000	1,531,385,891	216,099,109
役員報酬	10,500,000	10,500,000	0
給料手当	357,531,000	346,411,066	11,119,934
臨時雇賃金	297,235,000	295,312,336	1,922,664
退職給付費用	47,489,000	63,450,091	-15,961,091
福利厚生費	80,931,000	77,297,119	3,633,881
広告宣伝費	12,480,000	8,372,186	4,107,814
旅費交通費	31,268,000	22,327,841	8,940,159
通信運搬費	22,737,000	20,486,979	2,250,021
減価償却費	68,248,000	64,188,481	4,059,519
消耗什器備品費	3,346,000	617,300	2,728,700
消耗品費	18,771,000	15,044,605	3,726,395
健診消耗品費	108,185,000	102,134,252	6,050,748
修繕費	32,882,000	21,782,514	11,099,486
印刷製本費	13,338,000	7,471,031	5,866,969
光熱水料費	16,032,000	14,260,179	1,771,821
賃借料	151,398,000	151,794,749	-396,749
保険料	1,426,000	936,635	489,365
諸謝金	1,505,000	910,178	594,822
会議・交際費	4,743,000	1,872,259	2,870,741
租税公課	23,864,000	21,435,601	2,428,399
支払負担金	1,716,000	1,555,520	160,480
支払助成金	3,000,000	3,000,000	0
委託費	229,044,000	135,178,966	93,865,034
雑費	9,552,000	11,789,136	-2,237,136
いずみホール管理費	86,678,000	69,786,856	16,891,144
公演企画制作費	113,584,000	63,470,011	50,113,989
管理費	17,471,000	18,800,009	-1,329,009
役員報酬	3,800,000	3,800,000	0
給料手当	4,666,000	6,087,605	-1,421,605
退職給付費用	-55,000	192,407	-247,407
福利厚生費	2,773,000	2,880,050	-107,050
旅費交通費	329,000	384,711	-55,711
通信運搬費	31,000	19,625	11,375
減価償却費	29,000	11,130	17,870
消耗什器備品費	4,000	0	4,000
消耗品費	8,000	211,871	-203,871
修繕費	3,000	1,678	1,322
印刷製本費	510,000	205,058	304,942
光熱水料費	53,000	52,825	175
賃借料	507,000	591,564	-84,564
保険料	1,000	151,601	-150,601
諸謝金	1,250,000	1,260,000	-10,000
会議・交際費	857,000	499,875	357,125
租税公課	2,287,000	1,340,817	946,183
支払負担金	2,000	140,126	-138,126
支払寄付金	80,000	20,000	60,000
委託費	298,000	794,688	-496,688
雑費	38,000	154,378	-116,378
経常費用計	1,764,956,000	1,550,185,900	214,770,100
評価損益等調整前当期経常増減額	-43,469,000	-17,204,720	-26,264,280
評価損益等計	0	353,100	-353,100
当期経常増減額	-43,469,000	-16,851,620	-26,617,380
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	14	-14
什器備品除却損	0	14	-14
経常外費用計	0	14	-14
当期経常外増減額	0	-14	14
当期一般正味財産増減額	-43,469,000	-16,851,634	-26,617,366
一般正味財産期首残高	1,342,242,000	1,404,177,706	-61,935,706
一般正味財産期末残高	1,298,773,000	1,387,326,072	-88,553,072
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	7,014,000	4,234,570	2,779,430
基本財産受取利息	7,014,000	4,234,570	2,779,430
一般正味財産への振替額	-7,112,000	-4,118,455	-2,993,545
当期指定正味財産増減額	-98,000	-35,485	-62,515
指定正味財産期首残高	699,120,000	699,224,491	-104,491
指定正味財産期末残高	699,022,000	699,189,006	-167,006
III 正味財産期末残高	1,997,795,000	2,086,515,078	-88,720,078

設備投資額

予算額； 140,960,000 決算額； 46,526,500

財産目録（参考資料）

2021年 3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		内容・備考	金 額	
(流動資産)	現金		1,073,360	
		手元保管（予防医学振興事業）	971,312	
	預金	手元保管（音楽文化振興事業）	102,048	
		普通預金	908,132,735	
		三井住友銀行（予防医学振興事業）	146,744,541	
		みずほ銀行（予防医学振興事業）	8,318,804	
		三菱ＵＦＪ銀行（予防医学振興事業）	66,298,830	
		三井住友信託銀行（予防医学振興事業）	78,650,652	
		三井住友銀行（福祉事業）	134,675,533	
		関西みらい銀行（音楽文化振興事業）	121,468,267	
		関西みらい銀行（音楽文化振興事業）	13,116,643	
		関西みらい銀行（音楽文化振興事業）	2,074,819	
		三菱ＵＦＪ銀行（音楽文化振興事業）	600,062	
		三井住友銀行（音楽文化振興事業）	992,099	
		三井住友銀行（音楽文化振興事業）	15,000,000	
		ゆうちょ銀行（音楽文化振興事業）	16,069,198	
		三井住友銀行（法人会計）	304,123,287	
		定期預金	100,000,000	
		三井住友信託銀行（予防医学振興事業）	100,000,000	
	未収収益	639,083		
	未収金		178,420,477	
		予防医学振興事業未収金	149,821,524	
	貯蔵品	音楽文化振興事業未収金	28,598,953	
		14,775,127		
予防医学振興事業貯蔵品		13,288,764		
音楽文化振興事業貯蔵品		1,486,363		
立替金		18,113		
前払費用		4,778,661		
	予防医学振興事業前払費用	1,700,662		
	音楽文化振興事業前払費用	3,077,999		
未収還付法人税等		2,462		
流動資産合計			1,207,840,018	
(固定資産)	基本財産		700,509,252	
		投資有価証券	694,469,902	
		第３１９回利付国債（法人会計）	195,196,040	
		第 ６１回利付国債（法人会計）	99,565,462	
		第１６８回大阪府債（法人会計）	99,960,000	
		第１７７回大阪府債（法人会計）	299,748,400	
		普通預金	6,039,350	
	特定資産	三菱ＵＦＪ銀行（法人会計）	6,039,350	
			203,954,520	
	その他固定資産	退職給付引当資産	203,954,520	
			137,721,520	
		三菱ＵＦＪ銀行（予防医学振興事業）	66,233,000	
		関西みらい銀行（音楽文化振興事業）	449,306,520	
		建物付属設備	27,008,044	
		構築物	1,808,243	
		什器備品	139,967,782	
		ソフトウェア	30,450,182	
		投資有価証券	244,872,713	
			第 ３回茨城県債（予防医学進行事業）	99,966,000
			第１６５回大阪府債（予防医学進行事業）	99,930,000
			第 ６１回利付国債（法人会計）	44,976,713
		電話加入権	432,000	
	敷金	4,652,000		
長期前払費用	115,556			
固定資産合計			1,353,770,292	
資産合計			2,561,610,310	
(流動負債)	未払金		77,502,114	
		予防医学振興事業未払金	65,468,514	
		福祉事業未払金	1,599,748	
	未払費用	音楽文化振興事業未払金	10,433,852	
			9,313,877	
	預り金	予防医学振興事業未払費用	6,595,610	
		音楽文化振興事業未払費用	2,718,267	
			3,503,916	
	前受金	予防医学振興事業未払金	2,763,556	
		音楽文化振興事業未払金	740,360	
	賞与引当金		29,397,540	
		音楽文化振興事業前受金	29,397,540	
			46,153,485	
		予防医学振興事業賞与引当金	35,894,964	
		音楽文化振興事業賞与引当金	10,258,521	
	未払法人税等		120,000	
	未払消費税等		18,631,300	
流動負債合計			184,622,232	
(固定負債)	退職給付引当金		290,473,000	
		予防医学振興事業退職給付引当金	224,240,000	
		音楽文化振興事業退職給付引当金	66,233,000	
固定負債合計			290,473,000	
負債合計			475,095,232	
正味財産			2,086,515,078	

監 査 報 告

2021年 5月21日

一般財団法人住友生命福祉文化財団

理事長 野呂 幸雄 殿

監事 上野 博明 ㊞

監事 田中 英行 ㊞

私たち監事は、2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2. 監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（3）公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上